

第10回 杉並区バリアフリー推進連絡会 実施要旨

会議名称	第10回 杉並区バリアフリー推進連絡会
日時	平成30年8月3日（金）午後2時00分～3時00分
場所	ウェルファーム杉並 複合施設棟
出席委員	出席9名、欠席26名 【関係団体等】 大原委員、西山委員、吉川委員、内山委員、石橋委員 【警視庁】 渡邊委員 【東京都】 圓地委員 【杉並区】 都筑委員、山川委員
事務局	都市整備部管理課（奈良、沼田、中谷、中村）
配付資料	・次第 ・杉並区バリアフリー推進連絡会委員名簿（平成30年8月3日現在） ・現地視察資料（ウェルファーム杉並 複合施設棟 パンフレット）
実施次第	1 開 会及び交代委員の紹介 2 会長あいさつ及び資料配付 3 ウェルファーム杉並 複合施設棟見学 4 質疑応答 5 副会長からの講評 6 閉 会

<p>要 旨</p>	<p>1 開会及び交代委員の紹介</p> <p>○事務局 都市施設担当主査中谷が司会を務めるとともに、前回の推進連絡会開催から、異動等で交代された委員の紹介を行う。</p> <p>2 会長あいさつ及び資料配布</p> <p>○交通施策担当課長 当連絡会会長の杉並区都市整備部長が所用のため、杉並区都市整備部交通施策担当課長から代理の挨拶を行う。</p> <p>○事務局 今回の連絡会に関する配布資料の確認を行う。また、施設では多くの利用者がいるため、静粛な見学と写真撮影の禁止をお願いする。</p> <p>3 ウェルファーム杉並複合施設棟見学</p> <p>○営繕課担当 ウェルファーム杉並の1、3、4階を案内。また、各階に設置されているバリアフリー関連の装備を案内。</p> <p>4 質疑応答</p> <p>○事務局 それでは質疑応答に移りたいと思います。今回の視察現場について何かご質問等はございますか。</p> <p>○西山委員 誰でもトイレには音声案内があるが、普通のトイレにはない。音声案内を設置しないなら、入口に点字の標示をしていただきたい。できたら、他の部屋の入り口にも点字を標示していただきたい。 エレベーター前の点字の位置が低すぎて読みにくい。また、通常の文字案内も、目線の高さにしていただいた方が弱視の方にも読みやすい。 階段の手すりにある点字をもう少し手前にしていただかないと、階段に一步踏み出さないと読めない。 見学会は、施設が完成した後ではなく、もっと前段階で見学させていただき、意見交換を行った方が様々な面において効率が良いと思う。</p> <p>○吉川委員 施設が完成してからではなく、建設する前の段階から、意見交換を行い、障害者の意見も取り入れていただければ、効率がいいのではないかと思う。</p>
------------	--

また、4階にユニバーサルシートを設置していただいたことはうれしく思うが、大きいサイズのシートの方が大柄な人にも使いやすい。しかし、1階にあればもっと気軽に使えるのではないかと思う。エレベーターの間口も広くはないので、車いすの方は大変かと思う。

○石橋委員

毎回、だれでもトイレの話があがりますが、通常、東京都の場合、建築物移動等円滑化基準チェックシートがあり、それにチェックをして申請する。通常、ベビーチェアとベビーベッドを設ける項目にチェックしないと申請ができない。そのため、おむつの交換台などが取り付けにくくなっている。

○大原委員（講評）

杉並区でも取り組んで頂きたいのは、設計段階で、当事者が参加できる仕組みを作りチェックをすること。ただ、すべての建築物で行うのは、厳しいと考える。神奈川県逗子市では、公共建築物に限って公共建築物の福祉適合検討委員会（当事者からなる委員会）を作られており、図面の段階からチェックを行う。公共建築物なので、学校からトイレまで幅広く、事前チェックを行い様々な意見を取り入れることが出来るので後々、変更などが出てこない。杉並区も一案として、例えばバリアフリー基本構想にある重点整備地区の公共建築物に限っては、建築前に事前チェックを行うなど、できるところから始めていければよい。

トイレの設計に関しては、もっと工夫できる余地がある。特に音声案内は、メーカーのパッケージでついてきたのではないかと思うが、視覚障害の方にとっては、車いす用トイレは、ボタンが多く、空間も広く、使いにくいので通常のトイレを使うことが多いことから音声案内を行うならむしろ、通常トイレ群の入口に設置すべき。車いす用の広いトイレも、音声案内があった方がいいが、案内を的確にできるものにした方がよい。

今からでもできることは、サインをきちんと整理する。建物の中のどこに誰が必要としているトイレがあるのかを、建物全体で紹介する。そして、そこに誘導するためにエレベーター前等にもサインを標示する。トイレの入口に、トイレの細かい案内標示を設置する。トイレ内でも案内が必要で、機能分散型のトイレを設置し、必要な人が的確にそのトイレを使えるようにするべきである。誰でもトイレにすべての人を押し込まないようにするべき。

また、一部の発達障害の方にとっては、部屋や廊下が白で均一であると耐えられない空間の場合もある。今後は植物等を置いて緩和する

ことが出来る。

隣に建設される特別養護老人ホームに関しても、共用スペースに関しては、当事者が参加して作り上げていくのも良いと思う。

5 事務連絡

○事務局

貴重な意見ありがとうございました。先ほど頂きました意見等は整理して、各主管部署に伝え、改善等をしていきたいと思えます。

それでは以上をもちまして、本日のバリアフリー推進連絡会は終わりとさせていただきます。また次回は来年の1月ごろに恒例の連絡会も予定してございますので、こちらも参加をお願いしたいと思います。今後ともよろしく願いいたします。

6 閉会